

政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

林業・木材産業の成長産業化に向け、低コスト林業の推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連施設への天竜材供給をはじめとした木材の地産地消並びに地産外商を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算		880,236
決算		
人件費(A)		57,400
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)		937,636

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
年間木材生産量	m ³	181,200	目標	112,800	120,400
			実績	116,933	
森林経営計画 累計認定面積	ha	40,000	目標	13,600	14,800
			実績	13,768	
林業行政を総合的に推進する組織の設置		設置(H30)	目標	設置に向けた検討	-
			実績	達成(27年7月)	-

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業従事者育成支援事業					15,589	12,789	0.4				
2	林道等整備事業					567,374	544,974	3.2				
3	低コスト林業推進事業		〇〇			68,500	65,000	0.5				
4	木材需要拡大事業		〇〇〇			273,751	245,751	4.0				
5	森林管理運営経費(一般諸経費のみ)					12,422	11,722	0.1				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						937,636	880,236	8.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 林業従事者育成支援事業

◇事業目的・事業対象

林業技術者の育成・確保を目的に、林業技術者の福利厚生面や安全衛生面等の充実を図る。

◇事業の概要

①林業技術者助成事業(補助金)
 「森林を守り育てる人づくり推進事業(静岡県)」などと連携し、①林業技術者の福利厚生面や労働安全衛生面の充実、②林業技術及び技能の習得などを支援するため、以下の事業を実施する。
 ・新規就業者支援事業補助金
 ・林業技術者退職共済積立金助成事業
 ・林業技術者技能習得研修等助成事業
 ・林業技術者一時金補助事業
 ・林業技術者振動障害対策助成事業
 ②(新規)林業担い手確保対策支援事業
 林業・木材産業の担い手確保のため、就業者確保のための活動に対する支援を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		12,789
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源		12,789
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			2,800
人工	正規		0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林組作業班員数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	200	200			
実績値	178				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				I-1(3)イ	
新規就業者支援件数(件)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	-	5		20	
実績値	-				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①林業技術者助成事業(補助金)

「森林を守り育てる人づくり推進事業(静岡県)」などと連携し、①林業技術者の福利厚生面や労働安全衛生面の充実、②若年者の新規参入促進、②林業技術及び技能の習得などを支援するため、以下の事業を実施する。

- ・新規就業者支援事業補助金
- ・新規参入者支度金助成事業
- ・林業技術者保険料等助成事業
- ・林業技術者退職共済積立金助成事業
- ・林業技術者技能習得研修等助成事業
- ・林業技術者一時金補助事業
- ・林業技術者振動障害対策助成事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 改善 小項目 条例・要綱等 / - 事業費 拡大 人工 現状

・林業・木材産業を担う就業者を確保するため、「林業担い手確保対策支援事業」を新設し、林業・木材業事業者が、就業者確保のための活動に要した経費を支援していく。

・事業の分類

大分類 事業推進

細分類 人材育成

事業シート (事業名) 林道等整備事業

◇事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

- 林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。
- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
 - ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
 - ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。
 - ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
 - ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。
 - ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林道専用道を整備する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		544,974
	決算		
	国・県支出		120,230
	市債		236,600
	その他		
	一般財源		188,144
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			22,400
人工	正規		3.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	23.6	23.8			
実績値	平成28年11月頃				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。

- ①公共林道整備事業(国庫補助) / 国庫補助により林道の開設及び改良等を実施。
- ②県営林道整備促進支援事業(負担金) / 県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出。
- ③県単独林道整備事業 / 県単独補助により林道の改良等をを実施。
- ④市単独林道整備事業 / 国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等をを実施。
- ⑤林道維持補修事業 / 市内の林道(204路線 約700km)の維持管理。
- ⑥林業専用道整備事業 / 林道規程2級に相当する林業専用道を整備。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 縮小

- ・林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく。
- ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。

・事業の分類

大分類 ハード整備 細分類 工事・整備(土木)

事業シート (事業名) 低コスト林業推進事業

◇事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や林業生産コストの低減に向けた設備導入等を支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設緊急整備助成事業(補助金)

「県中山間地域農林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		65,000
	決算		
	国・県支出		15,000
	市債		
	その他		
	一般財源		50,000
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			3,500
人工	正規		0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間木材生産量(m ³)				I-1(1)ウ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	112,800	120,400		143,000	181,200
実績値	116,933				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置				-	23
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討	-	設置		-
実績値	達成(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設緊急整備助成事業(補助金)／「県中山間地域農林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援。

【支援内容】対象林業事業者 1社

②低コスト林業推進助成事業／林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

(作業道)・認証森林・集約化森林内作業道	補助率:75%	(単価上限7,000円/m)
・上記以外の作業道	補助率:50%	(単価上限7,000円/m)
(作業路)・認証森林・集約化森林内作業道	補助率:75%	(単価上限4,000円/m)
・上記以外の作業道	補助率:50%	(単価上限4,000円/m)
(索道)・認証森林内索道	補助率:75%	
・上記以外の索道	補助率:50%	

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・林業経営の低コスト化に向け、国及び県補助金を活用し、高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備並びに林内道路網整備等を支援していく。

・事業の分類

大分類 補助・助成

細分類 補助・助成(個人・世帯)

補助シート (事業名) 低コスト林業推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置 高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)	高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)	高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)	高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)

事業シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇事業目的・事業対象

林業・木材産業の振興を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.22】

- ①(新規)FSC認証材・CLT利活用推進事業(負担金)／地元の金融機関や建築業者、林業事業者等が参加する「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」を設置し、民・官連携による地域産の木材の積極的な利用を推進する。
- ②天竜材の家百年住居助成事業／地域材の需要拡大を目的に、市内で地域材を一定量以上使用し建築した住宅・店舗・施設施工者に対し、建築費の一部を助成する。
- ③FSC認証材販路拡大事業／天竜材の認知度向上を目的にジャパンホームショーに出展する。
- ④木質バイオマス利用促進助成事業／木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援を行う。
- ⑤天竜材海外輸出検証事業／天竜材の販路拡大のため、海外輸出への可能性の検証などを行う。
- ⑥森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備事業(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		245,751
	決算		
	国・県支出		25,080
	市債		
	その他		
	一般財源		220,671
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			28,000
人工	正規		4.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間木材生産量(m ³)				I-1(1)ウ	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	112,800	124,000		143,000	181,200
実績値	116,933				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居助成事業助成棟数				-	-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	280	280			
実績値	199				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
FSC森林認証面積(ha)				I-1(1)エ	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	43,500	44,000	45,000	45,500	48,000
実績値	43,553				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
FSC認証材生産量(m ³ /年)				-	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	71,000	79,000	95,000		
実績値	68,911				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
木材・木製品製造業製品出荷額(億円/年)				I-1(1)工	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	323	355		450	
実績値	229(26実績)				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

- ①天竜材の家百年住居助成事業／地域材の需要拡大を目的に、市内で地域材を一定量以上使用し建築した建築主に対し、建築費の一部を助成。
- ②FSC認証材販路開拓事業／ジャパンホームショーへの出展。
- ③木質バイオマス利用促進助成事業／
 - (1)木質バイオマス利用促進事業費補助金
 - (2)木質ペレット地域循環モデル創造事業費補助金
 - (3)木質ペレットボイラー導入に向けた可能性・意向調査事業
- ④森林整備地域活動支援事業／森林所有者が行う森林整備地域活動を支援。
- ⑤利用間伐促進助成事業(補助金)／森林組合や森林所有者が行う森林整備事業(間伐等)を支援。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・FSC認証材やCLTの利活用のため、地元の金融機関や建築業者、林材業関係者が参加する「(仮)浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」を設置し、地域産の木材の利活用を積極的に進めていく。
- ・天竜材の販路拡大のため、国の地方創生加速化交付金を活用し、海外輸出に向けた検証事業を進めていく。

・事業の分類

大分類 補助・助成

細分類 補助・助成(個人・世帯)

補助シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
22	1 森林認証推進事業の実施 2 (仮称)FSCオリンピックフォーラムの開催 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材海外輸出検証	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材海外輸出検証	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材海外輸出

事業シート (事業名) 森林管理運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		11,722
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		904
一般財源			10,818
一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)			700
人工	正規		0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 運営経費(諸経費のみ)

政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

林業の持続的かつ健全な発展に向け、木材需要の拡大や低コストで生産性の高い林業経営、林内道路網の整備、林業技術者の確保・育成などを推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	693,469	
決算	615,016	
人件費(A)	49,000	
報酬(B)	2,100	
年間経費(予算又は決算+A+B)	666,116	

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
年間木材生産量	m ³	181,200	目標	112,800	120,400
			実績	116,933	
林業行政を総合的に推進する組織の設置		設置(H30)	目標	設置に向けた検討	-
			実績	設置(27年7月)	-
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

林業の持続的かつ健全な発展に向け、木材需要の拡大や低コストで生産性の高い林業経営、林内道路網の整備、林業技術者の確保・育成などを推進する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

平成27年度の木材生産量は116,933m³となり、目標を上回ることができた。
林業行政を総合的に推進する組織の設置については、平成27年7月に林業振興課を設置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	木材需要拡大事業		○	○								
2	林業・木材産業施設整備事業		○	○	○							
3	林業技術者育成事業				○							
4	林道整備事業		○	○	○							
5	林業専用道整備事業		○	○	○							
6	低コスト林業推進事業		○	○								
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇事業目的・事業対象

地域で生産された製材品の需要拡大を目的に、地域材を活用した建物の建築を支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①天竜材の家百年住居助成事業

地域材の需要拡大を目的に、市内で地域材を一定量以上使用し建築した住宅・店舗の建築主に対し、建築費の一部を助成する。

【支援内容】

助成棟数:280棟(うち、FSC認証分150棟)

補助金額:一般地域材20,000円/㎡ 上限25万円/棟 (FSC認証材使用の場合、上限35万円/棟)

②天竜材海外輸出検証事業

天竜材の新たな販路拡大先として考えられる中国・韓国・台湾への海外輸出の可能性を調査する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	92,300	
	決算	61,653	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	61,653	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		4,900	
人工	正規	0.7	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居助成事業助成棟数				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	280		310		370
実績値	199				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					23
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		-
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①天竜材の家百年住居助成事業

地域材の需要拡大を目的に、市内で地域材を一定量以上使用し建築した建築主に対し、建築費の一部を助成する。

【支援内容】

助成棟数:280棟(うち、FSC認証分150棟)

補助金額:一般地域材20,000円/㎡ 上限25万円/棟 (FSC認証材使用の場合、上限35万円/棟)

②天竜材海外輸出検証事業

天竜材の新たな販路拡大先として考えられる中国・韓国・台湾への海外輸出の可能性を調査する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

①天竜材の家百年住居助成事業

・助成棟数:199棟

・うちFSC認証分:94棟

○林業行政を総合的に推進する組織の設置

平成27年7月に林業振興課を新設した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・天竜材の家百年住居助成事業の店舗・施設での活用を推進するため、要綱の改正を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000 01

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 地域材を活用した建物の建築支援(天竜材の家百年住居る助成事業)	組織設置の検討 地域材を活用した建物の建築支援(天竜材の家百年住居る助成事業)	組織設置の検討 地域材を活用した建物の建築支援(天竜材の家百年住居る助成事業)	組織の設置 地域材を活用した建物の建築支援(天竜材の家百年住居る助成事業)

事業シート (事業名) 林業・木材産業施設整備事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、林業生産コストの低減を図る林業関係団体を支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設緊急整備助成事業(補助金)

「県中山間地域農林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

【支援内容】

対象林業事業体 1社

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,650	
	決算	5,650	
	国・県支出	5,650	
	市債		
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		1,400	
人工	正規	0.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間木材生産量(m ³)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	112,800				181,200
実績値	116,933				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					23
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		-
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設緊急整備助成事業(補助金)

「県中山間地域農林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

【支援内容】

対象林業事業体 1社

・事業の成果と課題

指標の達成度

①林業機械・施設緊急整備助成事業(補助金)

林業事業体(H2O/エイチツーオー)が、木材生産の効率化のために使用するグラップル付バックホウ(1台)の導入を支援した。

○平成27年度の木材生産量は116,933m³となり、目標を上回った。

○林業行政を総合的に推進する組織の設置
平成27年7月に林業振興課を新設した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・これまでに支援した高性能林業機械及び木材加工・流通施設の稼働実績を調査・分析し、効率的・効果的な事業の実施を検討した。

今後の方向性

大項目 小項目 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)

01 02 05 01 01728000 02

(担当課)

林業振興課

(責任者)

天野 幸夫

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 林業・木材産業施設整備事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)	組織設置の検討 高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)	組織設置の検討 高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)	組織の設置 高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)

事業シート (事業名) 林業技術者育成事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

林業技術者の育成・確保を目的に、林業技術者の福利厚生面や安全衛生面等の充実を図る。

◇事業の概要

①林業技術者助成事業(補助金)

「森林を守り育てる人づくり推進事業(静岡県)」などと連携し、①林業技術者の福利厚生面や労働安全衛生面の充実、②若年者の新規参入促進、②林業技術及び技能の習得などを支援するため、以下の事業を実施する。

- ・新規就業者支援事業補助金
- ・新規参入者支度金助成事業
- ・林業技術者保険料等助成事業
- ・林業技術者退職共済積立金助成事業
- ・林業技術者技能習得研修等助成事業
- ・林業技術者一時金補助事業
- ・林業技術者振動障害対策助成事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	17,170	
	決算	17,169	
	国・県支出		
	市債		
人件費(報酬等)(千円)	その他		
	一般財源	17,169	
	一般会計繰入金		
	人件費(千円)	1,400	
人工	正規	0.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林組作業班員数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	200		200		200
実績値	178				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①林業技術者助成事業(補助金)

「森林を守り育てる人づくり推進事業(静岡県)」などと連携し、①林業技術者の福利厚生面や労働安全衛生面の充実、②若年者の新規参入促進、②林業技術及び技能の習得などを支援するため、以下の事業を実施する。

- ・新規就業者支援事業補助金
- ・新規参入者支度金助成事業
- ・林業技術者保険料等助成事業
- ・林業技術者退職共済積立金助成事業
- ・林業技術者技能習得研修等助成事業
- ・林業技術者一時金補助事業
- ・林業技術者振動障害対策助成事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

①林業技術者助成事業(補助金)

林業従事者の育成や担い手確保のため、新規就業者への支援や新規参入者への支度金助成等を計画通り実施した結果、目標の作業班員数は確保できなかったものの、I・Uターンによる若手作業員は増加した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業内容を精査し、28年度予算において既存事業の予算額を約3割削減した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 林道整備事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。

- ①公共林道整備事業(国庫補助)
国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
- ②県営林道整備促進支援事業(負担金)
県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
- ③県単独林道整備事業
県単独補助により林道の改良等を行う。
- ④市単独林道整備事業
国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
- ⑤林道維持補修事業
市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	483,609	
	決算	440,773	
	国・県支出	97,535	
	市債	182,800	
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	160,438	
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		36,400	
人工	正規	5.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	23.6				25.4
実績値	(28年11月頃)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		-
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。

- ①公共林道整備事業(国庫補助)
国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
- ②県営林道整備促進支援事業(負担金)
県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
- ③県単独林道整備事業 [決算168,868千円(うち前年度繰越46,060千円)]
県単独補助により林道の改良等を行う。
- ④市単独林道整備事業
国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
- ⑤林道維持補修事業 [決算152,245千円(うち前年度繰越20,746千円)]
市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①公共林道整備事業(国庫補助)
道整備交付金事業(2路線)及び美しい森林づくり基盤整備交付金事業(3路線、うち繰越3路線)により林道開設を行った。
- ②県営林道整備促進支援事業(負担金)
県が施工する林道開設(4路線)に対し負担金を支出した。
- ③県単独林道整備事業
県単独補助事業により改良(19箇所、うち繰越7箇所)及び舗装(2路線、うち繰越2路線)を行った。
- ④市単独林道整備事業
市単独事業により改良(2路線)及び舗装(2路線)を行った。
- ⑤林道維持補修事業
市内の林道(204路線 約700km)を維持管理を行った。
また、橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁修繕(2箇所、うち繰越2箇所)を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・林道の開設、改良、舗装については、概ね予定通りの国・県内示が得られ事業を執行したが、一部で地権者との交渉等により翌年度繰越工事が発生した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000 04

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 林道整備事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 林内道路網(林道)の整備及び維持管理	組織設置の検討 林内道路網(林道)の整備及び維持管理	組織設置の検討 林内道路網(林道)の整備及び維持管理	組織設置の検討 林内道路網(林道)の整備及び維持管理

事業シート (事業名) 林業専用道整備事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮を目的に、林道を補完し、森林作業道と連携する林業専用道を整備する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

【整備内容】

550m

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成26年度	平成27年度	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	44,740	
	決算	39,844	
	国・県支出	20,320	
	市債	19,500	
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	24	
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,800	
人工	正規	0.4	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林内道路密度(m/ha) ※ (公道延長+林道延長)÷民有林面積					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	23.6				25.4
実績値	(28年11月頃)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		—
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

【整備内容】[決算39,844千円(うち前年繰越16,554千円)]
550m

・事業の成果と課題

指標の達成度

林業専用道(秋葉山2線・繰越)の整備を行った。

【整備内容】
748m

○林業行政を総合的に推進する組織の設置
平成27年7月に林業振興課を新設した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・概ね予定通り事業を執行したが、一部で地権者との交渉等により翌年度繰越工事が発生した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

補助シート

(事業名) 林業専用道整備事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 林内道路網(林業専用道)の整備及び維持管理	組織設置の検討 林内道路網(林業専用道)の整備及び維持管理	組織設置の検討 林内道路網(林業専用道)の整備及び維持管理	組織設置の検討 林内道路網(林業専用道)の整備及び維持管理

事業シート (事業名) 低コスト林業推進事業

◇事業目的・事業対象

林業事業の規模拡大や低コスト林業の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)の整備を支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

【支援内容】

- (作業道)・認証森林・集約化森林内作業道 補助率:75% (単価上限7,000円/m)
 - ・上記以外の作業道 補助率:50% (単価上限7,000円/m)
- (作業路)・認証森林・集約化森林内作業道 補助率:75% (単価上限4,000円/m)
 - ・上記以外の作業道 補助率:50% (単価上限4,000円/m)
- (索道)・認証森林内索道 補助率:75%
 - ・上記以外の索道 補助率:50%

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	50,000	
	決算	49,927	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	49,927	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)		2,100	
人件費(千円)		2,100	
人工	正規	0.3	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					23
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		-
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

【支援内容】

(作業道)・認証森林・集約化森林内作業道	補助率:75%	(単価上限7,000円/m)
・上記以外の作業道	補助率:50%	(単価上限7,000円/m)
(作業路)・認証森林・集約化森林内作業道	補助率:75%	(単価上限4,000円/m)
・上記以外の作業道	補助率:50%	(単価上限4,000円/m)
(索道)・認証森林内索道	補助率:75%	
・上記以外の索道	補助率:50%	

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

(作業道) 24路線	補助金額 24,036千円	施工延長 10,577m
(作業路) 21路線	補助金額 11,639千円	施工延長 8,456m
(補修) 21路線	補助金額 5,181千円	施工延長 6,813m
(索道) 5箇所	補助金額 9,071千円	15,205m

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・作業道等について、計画どおり前年度と同程度の路線数・延長を整備した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 01 01728000 06

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 低コスト林業推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 林業に必要な作業道や 索道の開設支援(低コスト 林業推進助成事業)	組織設置の検討 林業に必要な作業道や 索道の開設支援(低コスト 林業推進助成事業)	組織設置の検討 林業に必要な作業道や 索道の開設支援(低コスト 林業推進助成事業)	組織設置の検討 林業に必要な作業道や 索道の開設支援(低コスト 林業推進助成事業)

政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	438,796	260,000
決算	334,256	
人件費(A)	700	2,800
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	334,956	262,800

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
災害復旧工事の着工率	%	100	目標	100	100
			実績	100	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業施設災害復旧事業					262,800	260,000	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						262,800	260,000	0.4				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 林業施設災害復旧事業

◇事業目的・事業対象

林業経営の維持などを目的に、暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業
 国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業
 市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	438,796	260,000
	決算	334,256	
	国・県支出	93,179	104,000
	市債	21,000	76,000
	その他 一般財源	220,077	80,000
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	2,800
人工	正規	0.1	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
災害復旧工事の着工率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100			
実績値	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 02 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①国庫補助 災害復旧事業

国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

②市単独 災害復旧事業

市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。

・事業の分類

大分類 ハード整備

細分類 災害復旧

政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	438,796	
決算	334,256	
人件費(A)	700	
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	334,956	

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
災害復旧工事の着工率	%	100	目標	100	
			実績	100	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

国庫補助の対象災害は8路線発生したが、いずれも工事着手した。
また、単独災害については172路線(277箇所)発生したが、いずれも工事着手しており、災害復旧工事の着工率は100%であり、目標値を達成することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業施設災害復旧事業											
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 林業施設災害復旧事業

◇事業目的・事業対象

林業経営の維持などを目的に、暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業
 国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業
 市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	438,796	
	決算	334,256	
	国・県支出	93,179	
	市債	21,000	
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	220,077	
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	
人工	正規	0.1	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
災害復旧工事の着工率(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100		100		100
実績値	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 05 02 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業 [決算118,489千円(うち前年度繰越48,440千円)]
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業 [決算215,767千円(うち前年度繰越47,208千円)]
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成27年度の国庫補助災害は、8路線で法面崩壊等の災害が発生したが、いずれも工事着手した。
また、単独災害については171路線(277箇所)で災害が発生したが、いずれも工事着手した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

国庫補助災害及び単独災害については、早期の対応により、発生した災害はすべてにおいて着工することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類